

Course number	U-LAS70 10001 SJ50					
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：甲殻類学入門 ILAS Seminar :Introduction to carcinology		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Field Science Education and Research Center Professor,SHIMOMURA MICHITAKA		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Hours	30
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・Intensive, First semester		Quota (Freshman)	5 (5)
Target year	1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods	Intensive
Classroom					Language of instruction	Japanese
Keyword	甲殻類 / 形態学 / 分類学 / 生態学					
[Overview and purpose of the course]						
<p>甲殻類は世界から67,000種が知られている節足動物門で2番目に大きなグループである。1番大きなグループである昆虫は主に陸上で栄えているが、甲殻類は主に川や海などの水圏で繁栄している。甲殻類には大型のエビ・カニ・ヤドカリ類以外にも多くの小型の種を含んでおり、それらの形態や生活様式は様々である。</p> <p>本ILASセミナーでは主にフィールド調査と形態観察を行い、甲殻類の多様性を学ぶことを目的とする。</p>						
[Course objectives]						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 甲殻類の機能的な形態と適応的進化について理解する。 ・ フィールド調査の基本を学ぶ。 ・ 課題に対して自主的、継続的に取り組む能力を養う。 						
[Course schedule and contents]						
<p>4月中旬に農学部総合館でオリエンテーションを行う。</p> <p>実習は4月27日（土）～4月29日（月・祝）（予定）の日程で、和歌山県西牟婁郡白浜町にある京都大学瀬戸臨海実験所にて行う。</p> <p>実験所周辺の干潟、砂浜、岩礁海岸で甲殻類の採集調査とフィールド観察を行い、形態と生活様式の多様性について学ぶ。また、プランクトン採集によって小型甲殻類を採集し、カイアシ類や十脚類の幼生の形態や生活史について理解する。</p> <p>実習期間中にレポート課題を提示し、実習終了時にレポートを提出する。</p> <p>実習の詳細については初回オリエンテーション時に受講者と調整を行う。</p>						
----- Continue to ILASセミナー：甲殻類学入門(2) -----						

ILASセミナー：甲殻類学入門(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

実習への積極的な参加（50点）、レポート（50点）により評価する。

レポートは調べた情報の羅列ではなく、自分で考えた内容を高く評価する。

[Textbooks]

甲殻類の同定に必要な図鑑等はこちらで準備します。甲殻類の体制（ボディプラン）を理解するためのプリントを配布します。

[References, etc.]

（References, etc.）

石川良輔（編）『節足動物の多様性と系統』（裳華房）ISBN:978-4785358297

[Study outside of class (preparation and review)]

オリエンテーション時に、実習までに予習すべきことを指示します。

[Other information (office hours, etc.)]

- ・ 学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険へ必ず加入してください。
- ・ 交通費・食費は受講生負担となります。
- ・ 宿泊は瀬戸臨海実験所の宿泊棟を利用します。シーツのクリーニング代として900円を徴収します。
- ・ 実習中、わからないことについては積極的な質問を期待します。